

目標達成計画

作成日: 平成 22年 11 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ケアプランについて、利用者の表出する想いを把握するための方法を検討する必要がある	利用者の想いを中心としたケアプランを作成する	センター方式のアセスメントシートをより積極的に活用し、「問題点」という視点から「望んでいること」という視点に変えてケアプランを作成する	12ヶ月
2	26	フロアスタッフ全員と、本人、家族みな意見を話し合っ計画を作っていくようにしていく必要がある	本人、家族、フロアスタッフ全員の意見を反映させたケアプランを作成する	本人、家族の意向をお聞きすることをより徹底し、またスタッフ全員の意見を反映させるケアプラン作成のシステムを検討する また日々の記録の中に利用者の想いを書いていくようスタッフ全員が努める	12ヶ月
3	40	一人一人の好みを活かした食事メニューにしていく必要がある	利用者の嗜好を活かしたメニュー作りをする	一人一人の嗜好についてのアンケートをとる等工夫して、嗜好を活かしたメニュー作りに努める	6ヶ月
4	52	リビングのテーブルの配置や車イス対応の方の座りやすい場所の設定等の検討が必要	ゆとりのあるリビングの空間作りをする	ゆとりのあるリビングの空間作りを行うよう、テーブルや椅子の配置を工夫する	12ヶ月
5	1	グループホームの理念を、プロセスと共に家族や地域の人々へ伝えていく必要がある	ケアスタッフ全員で話し合っ作った理念であることを含め、家族等にアピールする	掲示盤やニュースレター等、ご家族や地域の方の目に触れる媒体を通じて、理念をプロセスと共にアピールしていく	6ヶ月